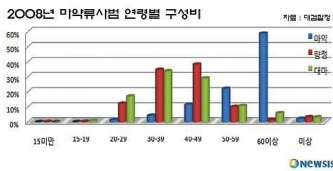


+幸せを探すあなたへ

20世紀の善悪の知識の木の実 麻薬中毒



私たちの未来(次世代)を殺す麻薬

景気の好況や不況、先進国や後進国と関係なく、国ごとに深刻なほど急増しているのが麻薬問題です。最近になって、新しい麻薬とサイバー麻薬服用がますます深刻化しているなかで、年齢が低い青少年の間に流行していることが、まさにエクスタシー(XTC)です。これは他の麻薬と違って、罪悪感をあまり持たせないかわりに、性的衝動を起こすようにする幻覚剤なので、副作用によって臨床研究使用まで禁止された麻薬です。英語のエクスタシー(ecstasy)は、ギリシャ語エクスタシス(ekstasis)に由来した言葉で「自分を超越して、自分の外に立つ」という意味です。本来、古代ギリシャでは、たましいが肉体を離れて宇宙をさまよう状態を意味します。自分のアイデンティティーをなくしてさまようようにさせる麻薬、今日も、数多くの若者が脳を損傷することによって死の道にさまっています。これはだれのしわざでしょうか。それこそマヒをもたらす麻薬でなく、悪魔がもたしてきた魔薬ではないでしょうか!

人間の幸せのための神様の善悪の知識の木の実(契約) 神様は万物を創造されたとき、人間をもっとも幸せな存在として造られて、エデンの園で、その祝福を味わいながら生きようとしてくださいました。そして、そのすべての祝福を味わえるただ一つの条件で、善悪の知識の木の実に対する契約をくださいました。善悪の知識の木の実、神様がエデンで人間の永遠な幸せを守ってくださるために約束された一方的な恵みの契約です。国民のいのちを守るために国家が作った方法が、交通信号であるように、エデンの祝福を味わう奥義が善悪の知識の木の実の約束です。そして、サタン(悪魔)のすべての影響から

完全に保護されるようにする、神様が私たちとともにおられるという存在の契約の象徴でもあります。善悪の知識の木の実、食べるか食べないかという次元でなく、神様のみことばに従順にするか、不従順するかをはかる重要な基準になって、人間の生死がかかったいのちの契約なのです。取って食べれば死ぬようになるが、取って食べなければ永遠に生きるという神様のみことばが保障されているのです。

人間を滅ぼすためのサタンの善悪の知識の木の実(麻薬) サタンはだまして、あざむく達人です。エデンの園に現れたサタンが、人間に投げたはじめての言葉がうそでした。「そこで、蛇は女に言った。『あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。』」(創世記 3:4~5)このうその誘惑に負けた人間は、サタンがもたらす呪いと運命と災い、満たすことができない虚しさをもたらす自殺とうつ病と精神問題で苦しむようになりました。偶像崇拜とそれによる肉体的病氣と、繰り返す失敗に苦しめられて、結局は、永遠な地獄の苦しみの中におちいるしかはない運命に閉じ込められて生きようになりました。自分が体験した苦しみが、子孫にそのまま伝えられる悪循環を繰り返すようになりました。今日も、サタンはあらゆる中毒(麻薬、アルコール、淫乱、ゲーム、ギャンブルなど)の道具を持って、うそをささやきながら、誘惑の手を伸ばしてきています。「それで、あなたは本物の幸せを得ることができるよ。一度やってみよう、はやく!」

正しい道を見つけなければなりません サタンにだまされて神様を離れてから後に訪れた人間の不幸を解決しようとするなら、根本的な選択をすることだけが生きる道です。幸せの根源である神様に会う道、人間が解決できない罪と呪いの問題、運命と運勢から解放される道、そして、これらすべての不幸の張本人であるサタン(悪魔)、悪霊の問題、そして、地獄の問題から解放される道、その根源的な解答を聖書は「イエス・キリスト」だと話しています。イエス・キリストを信じる瞬間、神様とともにいるようになる真の幸せの人生が回復します。この祝福があなたのことになるようにお祈りします。

重職者の生き方 スケジュール伝道+伝道企画+答え

計画をたてないのは失敗を計画することと同じだ ジャック D. ホッジが書いた<習慣の力>という本を見ると、このような文章があります。「私を捕まえて飼いつつ、訓練させて、断固として統制すれば、私はあなたの足もとにこの世を捧げるだろう。私と一緒に楽に暮らせ。そうすれば、私があなたを破壊するだろう。私はだれであろうか。習慣だ...日常(routine)の姿が、まさに皆さん自身だ。成功した人々の共通分母は、良い習慣を土台にした日常生活だ...一日の計画がない人は、開始する前に道に迷って、さまよう。計画をたてないのは、失敗を計画するのと同じだ...」習慣がこのように重要ならば、重職者は何から計画して、実践しなければならないのでしょうか。

スケジュール伝道 毎日、自分の生活の中での出会いをにおいて、伝道計画を立てることから始めることをお勧めします。「私が出会う人にどのように伝道資料を渡そうか」というすてきな計画だけ立てても、神様の働きを体験するようになって、週報とメッセージテープの資料がどれくらい貴重なのかを知るようになります。また、このようにしてみれば、自分の水準も知るようになります。水準が高ければ高いように、低ければ低いように、それに合うように計画を立てれば良いのです。これを実践してみるならば、結局、神様のみことばが成就することを味わうようになります。このようになってこそ「私が受けた答えを必ず話してあげなければならない」という事実も発見するようになります。ところが、大部分の重職者がこの計画を立てないでいるというのが問題です。

伝道企画 伝道計画を立てていってみるならば、伝道企画が出てくるようになります。たとえば、私たちの教会で一番近い地域に、教会はあるがメッセンジャーがいない軍部隊とか、空いている大学、海外現場にだれを送るのかを企画するのです。優先的に空いている黄金漁場を点検して、いつ伝道キャンプをするのか、どのようにするのか、だれを送るのかが出てこなければなりません。この時、弟子も発見できます。教会機関、教会学校を見て回って、彼らと対話しながら伝道企画をするのが何より至急です。

答え その次に、祈り、みことば、伝道企画の集いを通して答えを一つずつ見つけ出せば良いのです。少しすれば、長老が一ヶ所ずつ責任を引き受けるようになります。それが地教会です。このように生きれば、長老はとても忙しくて、老いる時間さえないことを知るようになるでしょう。世界福音化に長い間、用いられるように主の御名でお祈りします。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、1ヨハネ 5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

救しの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、1ヨハネ 5:4)



神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

真の成功、神様と通じる者

真の成功と真の親孝行 ただ一度も、親不孝をすべきだと考えたことはなかったのに、父がなくなって、家庭の経済が極度に難しくなって、墮落の道に進むようになった私は、不孝者になるしかありませんでした。休むことなく、息子を抱いて祈っていた母の心に、この上なく大きい荷物と憂いを持たせるようになったのです。私自身も知らない間に、やみの事に没頭してさまよって見たら、親孝行はしようにもできませんでした。そのようなある日、福音の奥義を知るようになった私は、聖書を見て、3つの大きい事実を発見するようになりました。

最初に、親孝行をして、親を敬うのも重要ですが、両親を尊敬できる人になるのがさらに重要だという事実を知るようになりました。私は次世代にお願いします。「成功しようとせずに、成功できる人になる器を準備しなければならぬ。お金をもうけようとするな。お金をもうけられる人にならなければならない」このためには、神様の契約、すなわち、福音を堅く握らなければなりません。どんな危機や問題が来ても、勝ち抜ける力を持っていなければなりません。だれがなんと言っても、自分のすることにおいてだけは、最高にならなければなりません。どんな問題、葛藤、困難がきても、神様の祝福にすることができなければなりません。それでこそ、世の中も生かして、家庭も生かして、親孝行もできるのです。

二つ目、家庭のすべての問題を、全部、今日と未来のための土台としなければなりません。良いことは祝福の土台に、良くないことはより大きい祝福の土台にすれば良いのです。成功した人物は、言い訳をしません。言い訳は、むしろ目を暗くして、過去の運命に陥るようにさせます。家庭の問題は、私の人生に向かったメッセージで、土台だという事実を必ず記憶しなければなりません。

三つ目、重要な契約を発見して決断をくださなければなりません。私は難しかった過去を見て、神様の前に3つの決断をくだしました。「私は貧しく生きない。教会でも、仕事でもするのなら、他の人の十倍する。また人を恨まない。間違った人は、神様の愛で許す。そして、伝道運動に人生を捧げる」この小さい決断が、ひどくほろびていた私を、伝道者に仕えて全世界を通いながら福音を伝えるようにさせる基礎となりました。最後の残った人生を福音のために素晴らしく生きようという決断をくだす時、神様と通じる者になります。

神様と通じる者 神様と通じる者は、神様の御声を聞くことができ、神様の計画を知って、神様がくださるとても至急なこと、神様が重要視されることを見る方法を知っている人です。福音を知って伝える者であることが確実ならば、神様は祈り、みことば、伝道の中で、引続き答えをくだされます。この時から、神様の計画も知るようになります。神様は、皆さんが祈りの中ですべての人生を決めるように準備しておかれました。また、伝道の中で、すべての人生を味わうように準備されました。世界福音化に必要な経済も準備しておかれました。私たちの生活が神様の計画の中にあるならば、これが最も安全なのです。そうすれば、神様が重くご覧になる至急なこと3つが見られます。墮落文化、麻薬文化、悪霊文化を防いで、次世代の土台を用意してやる RUTC(レムナント共同体訓練場)がなぜ必要なのか見えるようになります。そして、地域の暗やみ文化を変える教会建築の必要性を見るようになります。これを通じて、世界の精神文化、霊的文化を変えるようになります。神様と通じれば、答えは絶えず来るようになっています。ただ一回だけの人生を生きながら何を残して行かなければならないのでしょうか。神様と通じる信仰の足跡を次世代に残さなければなりません。今日から、この祝福を体験するようになるように主の御名で祝福します。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

24日(月)

未来のための時間(創 37:1~11)

聖書を正しく見て、伝道を悟って、聖霊に満たされれば、未来と方向が分かります。契約を持った者は、必ず未来のための時間を持つべきなので、読書計画、勉強計画、専門性、祈りの力を持って唯一性の答えを見つけなければなりません。

25日(火)

私を見つけなさい!(イザヤ 43:1~6)

世界の基が置かれる前からキリストの中で神様の恵みで選ばれたのが、まさに「私」です。それで、どんなことにも揺れずに、自分がいる現実の中で、祈りの奥義の中で、メッセージと私の仕事の中で、私を見つけなければなりません。世界福音化を見上げながら、機能と言語と文化と現実を正しく見ながら挑戦すれば良いのです。

26日(水)

私のものを見つけなさい!(イザヤ 6:1~13)

キリストの中にある者は、新しい人生を生きるようになります。福音の中で、神様の子どもに与えられる祝福、未信者状態に勝てる権威、聖霊の内住、導き、満たしが、まさに私のものです。これを私だけの聖霊の満たされる方法をもって味わって、成功者としての規律と習慣と素質をそろえていけば良いのです。

27日(木)

未来を見つけなさい(使徒 1:8)

神様の子どもは、今、していることに最善を尽くして、問題がきた時、その中に隠された神様の真にすぐれた計画を発見して、聖霊に満たされて未来をながめれば、唯一性の答えを受けるようになっていきます。すでに、神様はみことばの祝福、伝道の祝福、世界福音化の答えをくださいました。

28日(金)

RUTC 運動の理由(1サムエル 3:19)

価値ある祝福が何なのかを知っている人は、器から違います。福音の中で、大きい器になろうとすれば、人間主義を越えて、ただ神様だけ見上げて、福音の働きに従っていくべきです。神様の前で、神様とともにする生活を味わってみるならば、福音で人を生かす生活を送るようになります。

29日(土)

イテロ長老の選択(出 18:1~12)

問題がきた時や選択をする時は、私のアイデンティティーを確認して、私が握った契約を確認しながら、ビジョンと合う根源的な選択をしなければなりません。そして、聖書を通して、神様と福音と聖霊の働きと伝道の祝福を悟る時、神様の力が現れるようになります。

週間メッセージ

聖日1部 あなたの父と母とを敬え
(出 20:12)

聖日2部 神様と通じる者
(ローマ 9:14-18)

慣れてしまった苦しみは 喜びではありません

家庭カウンセリングの専門家たちが伝える言葉によれば、アルコール中毒の父親がいる娘は、ほとんど間違いなくアルコール中毒の夫に会って、苦しみ悪循環の中に暮らすようになるということだ。さっと聞けば、そんなはずはないだろうと見なされるが、実際に、こういう現実には避けられないことだと言われている。酒さえ飲めば家に帰ってきて、母親とけんかをして騒動を起こす父親を、だれよりも近くで見ながら、はじめには恐れている娘も、どんどんその状況に慣れていく。結局、父親を軽く叩いて、おやすみと言うコンパニオンの役割をしばしばしてみると、酒に酔った人を世話するのが上手な人になっていくということだ。大人になって恋愛をする時になれば、酒を絶対に飲まない男性に会うことは難しく、結局、素晴らしくて力がある人は、酒をよく飲まなければならない社会の雰囲気の中で、酒をよく飲む青年に会うようになって、それまで父親を扱った慣れがあるので、酒に酔った若い青年たちを世話することくらいは、簡単なことなのだ。時間が過ぎたら、酒に酔った父の姿を持った男が、自分のそばにいてることを知るようになって、そのような苦しみに悪循環が、ひと回りしたのを発見した時は、あれこれ考えてみてもすでに遅いのだ。自分だけでなく、また他の人生、すなわち子どもの人生までも以前の自分のように、苦しみを受ける場所にいるようにさせるのだ。

今は高級公務員になって、模範的な生活をしている人がいた。青少年の時期、あまりにも家が貧しかったので、学校に行くことはできたが、一日の食事をする事さえ難しいほどだったという。高校生の時は、朝を食べないで家を出る時が、一度や二度ではなかったが、町の入り口の村の居酒屋で、おばさんに腹がへったと冗談を言えば、それなら飲めと言いながら、大きな杯を渡してくれたという。マッコリ(お酒)が入った杯をぐいぐいと飲みほして学校に行けば、その時にはじめて酔いが回って来て、ふらふらして、胸がむかむかするので、しかたなく一眠りしなければならなかったそうだ。そのように終日、お腹をすかせて、学校が終わって家に帰る道、またその居酒屋に立ち寄って「おばさん!」と呼べば、また人情が厚い主人は、マッコリが入った杯を抱かせてくれ、それを飲んで家に帰ることが多かったそうだ。これがきっかけになって、その方は機会があれば酒を楽しんだが、マッコリが焼酎に、焼酎からビールに発展して、いよいよ洋酒になって、ウイスキーに、最後には爆弾酒まで飲むようになったとい

う。

そのような彼が、ある日、自分の実状を見るようになった。幼い時、ひどく貧しかった彼に、酒場のおばさんがありがたいこ



イラスト_ユン・スルギ

とに、糧としてくれたのが酒であったが、その時は選択の余地がなくて飲んだのであった。しかし、今は社会的にも見劣りがしない公務員で、薄給でもなく、その時のようにお腹がすいているのでもなく、仕事に苦しめられるとしても、意識がなくなるほど飲んでストレスを解消するのでもないのに、慣れてしまって酒を飲む自分の姿は、はたしてなにかという自己嫌悪感を持つようになったのだ。しかし、考えるように、簡単ではなかったということだ。幸い、福音を慕い求めたので、みことばの祝福を味わって、今は地方で重要な機関の長として働いている。

人生を生きながら避けられない人生の苦しみは、事実かなり以前から伝えられてきたものだ。本来、私のことではないことでも、長く私のそばにあれば、私のことのように勘違いするように、他の見方をすれば、それが苦しみであるのに、長く慣れてしまったので当然に思うのだ。私がだれなのかを知らず、苦しみが何なのかを計ることも難しい。酒に縛られた公務員が気がついたように、自分をよく見なければならぬ。酒に支配されているということは、苦しみに慣れていることで、それが習慣化しているだけであって、本来の自分ではない。これは、ただ酒だけでなく、運命に従ってやってくるいろいろな人生の問題のように、人の力では解決できないので、慣れてしまう問題の塊なのだ。それは、絶対に喜びではないから、真の喜びのために心を開いて福音を受けてこそ、慣れたものではない喜び、すなわち救いの祝福を味わうようになる。それなら、慣れたものと今は別れなければならぬ。それだけが、自分を生かす道で、子孫まで生かす道となるのだ。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

*相談したい方はこちらまで連絡してください